

# 4年「がい数」

4年算数科 9月 24Q〈8時間〉  
 附属新潟小学校 教諭 越村 尚貴

## 1 本単元で目指す姿

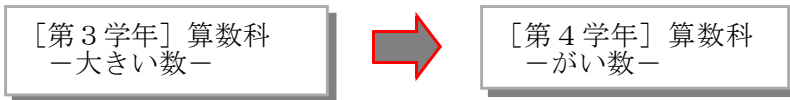
**目的に合わせて数量を変化させていくことで、数の仕組みを見いだす子ども**

具体的には、数の仕組みや構成する単位に着目する見方・考え方を働かせ、目的に応じた数の処理の仕方を考える力を発揮して「一番少ないのは、 $3500+1000+5500$ で10000円です。一番多いのは $4000+1500+6000$ で11500円です。だから、12000円で考えたお父さんは絶対に買えます。11000円で考えたおばあちゃんは買える可能性が高いけど、もしかしたら買えないかもしれません。9000円で考えたお母さんは、1000円の割引券があるから実際は10000円分は買えるけど買える可能性は低いです」などと課題解決した姿。

## 2 本単元で育成する資質・能力（評価基準）

	①知識・技能	②思考力・判断力・表現力	③態度
算数科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がい数の意味と表し方に関する知識</li> <li>○演算の意味と表し方に関する知識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に応じた数の処理の仕方を考える力</li> <li>○数の大きさの比べ方を考える力</li> <li>○数量の関係を図や式を用いて表す力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目的に合う数学的な表現を用いて自分の考えを明瞭・簡潔・的確に説明しようとする態度</li> <li>○算数の学習を進んで生活や学習に生かそうとする態度</li> </ul>

## 3 関連する学習



## 4 単元の計画

	【学習活動】☆資質・能力	【働き掛け】	Q
(一次)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 10のまとまりを作って柿の種の個数を数える。 ★算数科①</li> <li>○ 身の回りで「約」「およそ」で表されている数を探す。 ★算数科③</li> <li>○ 四捨五入の処理の仕方に慣れ、どのようなときに使われるのかを考える。 ★算数科①②③</li> <li>○ 数直線を用いて、四捨五入の意味を説明する。 ★算数科①ツール活用能力</li> <li>○ 切り上げ、切り捨ての処理の仕方に慣れ、どのようなときに使われるのかを考える。 ★算数科①②③</li> <li>○ 数直線を用いて、切り上げ、切り捨ての意味を説明する。 ★算数科①ツール活用能力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ どんぐりが何個あるかを問う。</li> <li>◆ 概数の意味を教え、どのようなときに用いられるかを問う。</li> <li>◆ 四捨五入の意味を教え、どのようなときに使うと便利かを考えさせる。</li> <li>◆ 数直線を用いて、四捨五入の変域を説明させる。</li> <li>◆ 切り上げ、切り捨ての意味を教え、どのようなときに使うと便利かを考えさせる。</li> <li>◆ 数直線を用いて、切り上げ、切り捨ての変域を説明させる。</li> </ul>	15 Q 5 時間

<p>(二次)</p>	<p>○ 概算の意味を知り、どのようなときに使われるのかを考える。  <b>☆算数科①②③</b></p> <p>○ グラフの目盛りや数の大きさに着目して、何の位までの概数に表すかを考える。  <b>☆算数科②③協働性</b></p>	<p>◆ 買い物場面を提示し、どのように概算したらよいかを問う。</p> <p>◆ 新潟市の人口推移の統計資料を提示し折れ線グラフで表すにはどのような概数に表せばよいかを問う。</p>	<p>6 Q 2 時間</p>
	<p>○ 概算結果が違うのは概数の仕方が違うからかもしれない。  <b>☆算数科①</b></p> <p>学習課題：同じプレゼントを買おうとしているのに、どうして概算した答えが違うのだろうか。</p>	<p>◆ プレゼントを買う予算を立てる問題場面について、概算結果の異なる場合を提示する。  <b>【働き掛け1】</b></p>	
<p>(三次)</p>	<p>○ 3つの式の数を比べるとよく分かる。ぬいぐるみは4000円か3000円、絵本は2000円か1000円、洋服は6000円か5000円だ。切り上げは絶対大きい方で、切り捨ては絶対小さい方になる。  <b>☆算数科②協働性</b></p>	<p>◆ 概算の式を提示し、どのような概算をしているのかを問う。  <b>【働き掛け2】</b></p>	<p>3 Q 1 時間</p>
	<p>○ 一番少ないのは、<math>3500 + 1000 + 5500</math>で10000円です。一番多いのは<math>4000 + 1500 + 6000</math>で11500円です。だから、12000円で考えたお父さんは絶対を買えます。11000円で考えたおばあちゃんは買える可能性が高いけど、もしかしたら買えないかもしれません。9000円で考えたお母さんは、1000円割引券があるから実際は10000円分は買えるけど買える可能性は低いです。  <b>☆算数科①②ツール活用能力</b></p>	<p>◆ 3人の概算の式について概数の違いを比較させ、変域の違いを問う。  <b>【働き掛け3】</b></p>	
	<p>○ 4つ目のプレゼントを買うのに使えるお金は<math>15000 - 10400</math>で4600円です。切り捨てだと足りなくなります。だから切り上げか四捨五入で考えるのがよいと思います。  <b>☆算数科②③</b></p>	<p>◆ 所持金を提示し、4つ目のプレゼントが買えるかどうか判断するために、どの方法を用いるのかを問う。  <b>【働き掛け4】</b></p>	